

在京石鳥谷町人会だより

在京石鳥谷町人会だより

発行所 在京石鳥谷町人会
埼玉県さいたま市桜
区大久保領家 630-34

電話 048-855-7577

発行者 熊谷福二

編集 広報部会

責任者 飯塚悦子

在京石鳥谷町人会 への想い

在京石鳥谷町人会

会長 熊谷 福二



黄金色の稲穂そよぐ実りの風景を眺めつつ、各会員そして家族の皆様ご健勝で居られる事と存じます。

平成十八年度より新しい花巻市になり、早四年の歳月過ぎようとしています、又在京石鳥谷町人会も二十二回目に成りますが、今年は懇親会も様替わりしようとして役員皆様努力致しています。石鳥谷町新堀より何年ぶりの千刈田神楽、膳舞の子供たちが来てくれる事と思います。

又最後の趣向に旧石鳥谷音頭の踊りを見る事が出来るとの事です。

会員の皆様が喜んでくれる事を願って奮闘致している所です。

私、七月七日に石鳥谷総合支所に行き、ご協賛の方々に御挨拶又御願いに参りました。

又八月の夢まつり花火に行く約束いたし八月十三日行きました。当日雨で花火が中止になり十五日に盛大賑やかに行ったそうです。

九月八日より十日石鳥谷祭りも大イベントで盛大に行い、今年はお案内頂きましたが行くことが出来ませんでした。(お祭り見たかったね)

さて私が会長を平成十二年度より任務させて頂きまして、十年も成ろうとしております。こんなに長く出来るとは思っておりませんでした。一人では何も出来ません、皆々様の熱意があって会が栄えます。どうか会員各位の皆様在京石鳥谷町人会にお力添え下さる事を御願致します。

今年度総会には(十一月一日)上野精養軒でお会いする事をお約束します。是非御参加下さる様心待ち致しております。



二百年以上継承されてきた歴史ある千刈田神楽(新堀)



(ありがとう石鳥谷、わが故郷より)



同じ思いの 同郷人

千葉県流山市在住
高橋 弘美

去る四月二十九日に『近隣ふるさと会
役員懇親会』が開催されました。

当日はゴールデンウィークもいよいよこれからだと気分が浮かれると共に、初夏の日差しがとても眩しく、すこぶる快適なお天気に恵まれて……でも会場はホテルの中（錦糸町・東武ホテル）と、ちよつと残念な気持ちもありましたが、野外での会場設営はいろいろな面で難しいので、まあしようがないよね、と思いつながら参加させて頂きました。

参加は八ふるさと会にのぼり（在京石鳥谷町人会、在京大迫人会、ふるさと矢巾会、在京花巻人会、北上ふるさと会、在京金ヶ崎人会、在京東和町友会、紫波町ふるさと会）計五四名の参加となりました。主催者は紫波ふるさと会の方々に、開会セレモニーの後早

速懇親会となりましたが、そこでの話題はやはり会の運営に対する苦労話が多数を占めていたように思います。会員の高齢化・若年層の入会減少（皆無）・寄付金／補助金の減少・総会の出席者減少等が共通の話題（悩み）でした。しかし、会が進みお酒も（昼間から）だいたい進みますと苦労話も何のその、自分のふるさと会の自慢話に花が咲き大いに盛り上がった会となりました。

こうして思いますと、役員になられていらっしゃる方々はどのふるさと会でも共通していることがあります。それは人間が好きなんだということです。人と人との繋がりがそれを継続することによってできる絆が何より好き且つ、故郷のことを大事にしている方々なのだということを感じた一日でした。私もこれまでの人生の三分の二を首都圏で過ごすに至っておりますが、こうした故郷を共有する方々との繋がりを一層大事にしていきたいと思えます。



在京石鳥谷町人会

岩手県人連合会に

参加して

千葉市在住

荒瀬 富姫子

去る五月十日、新宿京王プラザホテルに於いて、岩手県人の集いが開催されました。我石鳥谷からは九名の参加で、一テーブルを占拠しにぎにぎしく会が進みました。

ステージには岩手県知事を始め、県のお歴々、各市町村長（代理）の紹介の後、挨拶、祝辞等、総会も終わりました。

続いての、懇親会では一年振りにお

逢いた方々と話はずみ、ステージでは相撲甚句、歌手による民謡、歌謡曲のアトラクション、メインは福引抽選発表、最後は恒例になりました全員で「北国の春」「北上夜曲」を斉唱し会は閉場となりました。

今年は昨年に比べ百名ほど少ない参加だったとか。どちらのふるさと会も会員の減少傾向にあるようです。知人に一声をかけて一名でも多くの会員を増やしたいものです。又来年も参加できたら嬉しいですね。



達増知事を囲んで



今回、あるカメラ会社の写真教室に参加しました。

撮影地の本郷界隈は、東京大学が近接しており文京の中でも、昔からその名の知れている地域でもあります。そして、戦争の被害が少なく、明治、大正、昭和と経て、平成の最近になり、街の様相が時代とともに趣を変えざるを得なく変貌しようとしています。そんな訳でこの界隈の現在に着目し、昔の去就を記す当時は資料までとはならないまでも、思い出の記録とすることは大事なことと思われ撮影会に参加しました。

体裁よく言えば、いろいろと能書きができるので、実に本人の気まぐれである。撮影当日は、幸か不幸か霧雨もよう

きとし、実に質感が良く、印象的な情景となり、写真の豊かさを感じさせられた。

しかしながら、現実には片手にカメラを抱え、更に傘を差し霧雨からカメラを保護するカバー(無くてタオルをかける)を支え、手荷物を肩掛けにして被写体を狙う、その姿は傍から見れば滑稽ではないかと映る。

格好はともかく、地下鉄白山駅を一四時過ぎにメンバーが揃い共々に出発した。駅からは東京大学方向に歩き、数分して本郷四丁目界隈に至る。この地域は高台と接することから、いたるところ坂道や階段の多い所である。



当日の雨は、情緒満喫の風情さえ感じさせられる情景に合う事も出来たし、写真家としても申し分のないチャンスだったとも言えるかも。

そう、残念ながら我が素人ではその実力は見えている。

能書きはこの辺にして、少しばかり撮影の状況をご紹介致しましょう。

行き交う地元の人々には軽い会釈や会話をしながら、撮影のポイントを探し歩いた。

この辺りには木造アパートもちらほらと見られます。昔は文京の文豪達も生活していた様である。今では冷暖房の室外機も見られたりし、今でも生活者がいる様子が伺えた。



散策途中、宮沢賢治に関する案内板を見ることができた。詩人・童話作家・花巻市生まれ・・・と、本郷での生活の様子が記されている。

ふと何か、郷愁を思い出し童話集の記憶をたどってみたものの、さっぱりと思いだせない(二つ、三つかな? 思い出せたのは)。

皆さんには機会がありましたら、ぜひ、散策とともに宮沢作品の一読を願ひ、知識を深めていただくとして、こ

こでは、さらりと通過して、撮影の歩みを前に進めます。

階段を上った界隈にも古き建物がいくつか見られるが、周囲には、既に高層マンションの類のビルが建ち並んでいました。風情のある建物は遠慮がちにも見えた。

路地裏の石畳は雨に濡れて光り輝き、路地の出入り付近には、朝鮮朝顔などの植物が植えられ、緑を少しでもとする生活の一部が通行人の心を癒している様である。和み落ち着きの路地はまだまだ健在である。

この路地裏の奥には井戸の存在も残されており、当時を偲ぶことさえできる。井戸は現在でも使用可能であるが、防火用水としてのみと表示されていた。狭い路地では防火対策が不安といえることから極、自然な施設となっていて、より昔を偲ぶ状況が自然溶け込むように存在している。

この界隈も被写体に事欠くこともない古き良き地域で、今度は、晴れているときの夕時や朝などの生活が身近に見られるときも見てみたいとさえ思われ、懐かしさを感じた。そんな心持も、撮影は二時間余りであったが、あつという間に過ぎた一時であった。

雨にけむる 等々力溪谷

M・K

六月二十一日第八回下町散策が行われました。今年はリクエストのありました、世田谷区にあります等々力溪谷です。

その昔、不動明神様の左右から流れ落ちる、その水音が溪谷に響き渡ることから、この辺りの地名が「とどろき」と命名されたと伝えられています。

あいにく、大雨の強行です、螺旋階段を降りますと矢沢川で等々力溪谷です。大雨でかなり増水して急流です、足元は整備されていますが大いに不安を感じます。



景色を眺めている余裕無し、増水した川の流れを見ながら橋を渡り横穴古墳見学、八世紀頃のものと言われています。少し下りまして稚児大師堂をお参りしました少し下り、橋を渡りまして等々力不動尊、稲荷堂、そうですここが『とどろき』の名称本籍地です。雨音、川の音で崖の左右から流れ落ちる水音は消され分りませんでした。



途中少し見学場所を省略しましたが川の流れが危険になりました。四十五分間の等々力溪谷散策は終了・・・計画ではこの後多摩川の河川敷を二子玉川駅まで散策予定でしたが、雨の為道が悪く予定変更し一般の道路をぶらり、さすが土地柄高級なお屋敷がずらり、約一時間歩いて二子玉川駅へ到着。これより懇親会、成り行きまかせな

ので、まずお店探しから、デパート、裏道を探し回り、まんまみーやに靴を脱ぎまして二階へ、参加者夫々好みの食事を注文、それぞれの飲み物で乾杯、トラブル等も無しで二子玉川駅で散会。次回は東京駅を中心に考えています。皆さんぜひ参加を。



年間の主な予定・催しもの

- ☆ 総会・親睦交流会 ☆ 下町散策
- ☆ 岩手県人の集い
- ☆ 石鳥谷夢まつり
- ☆ 花巻・石鳥谷観光物産展

(阿佐ヶ谷すずらん通り商店街11/7・8)

会費納入のお礼とお願い

会員の皆様には、会費納入にご協力ありがとうございます。

納入された会費は、会報発行費や町人会の活動のため有効に活用させて頂いております。

つきましては、本年度の年会費を郵便振替用紙にてお振り込み下さいますようお願い申し上げます。(年額 2,000円)

口座名義：在京石鳥谷町人会

口座番号：00180-7-261234

会計担当 山口

編集後記

会報の発行にあたっては、会員の皆様のご協力ありがとうございました。ありがとうございます。

広報部員と言っても素人のメンバーで、知恵を絞りながら6号までこぎつけました。何でも結構です。原稿をお待ちしています。(何度投稿してもよろしいです) 待ってまあゝす。

(飯塚)